

令和6年度学校経営計画

学校名 三原市立木原小学校
 学校長名 塚本 崇

I 学校の状況

学級数	4	児童数	19	教職員数	9
メールアドレス	kihara-es-info@mihara.ed.jp				
ホームページアドレス	https://www.city.mihara.hiroshima.jp/site/es-kihara/				

II 教育目標

自らをきりひらく たくましい児童の育成

III 経営理念（ミッション・ビジョン）

【ミッション】(自校の使命)	主体的・協働的に取り組み、やりぬく児童の育成
【ビジョン】(自校の将来像)	地域とともに歩み、児童が豊かに成長する安心と信頼のある学校

IV 中期経営目標及び短期経営

	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策
確かな学力の育成	基礎的・基本的な知識及び技能をはじめ、学ぶ意欲や思考力、表現力等の確かな学力の育成を図る。	(1)基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる。 (2)表現力並びに主体性、協働性を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ R-PDCAサイクルに基づく学習指導の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・「改善計画」や「個票」等を活用しサイクルを小さく回す取組を、教務部を中心に継続する。 ・学力課題に基づく指導を、日頃の授業の中で意図的に行う。 ○ 指導力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・場面(学び合い・振り返り等)に応じたファシリテートについて、教育研究を推進する。(生活科・総合的な学習の時間を軸としたカリキュラム・マネジメントの充実) ・「複式学級指導の手引き」を有効活用し、少人数・複式学級指導の工夫・改善を図る。 ・ICT機器活用の場面や方法の選択・拡大(授業・日常・研修・デジタル教科書)を進め、紙媒体の有効な活用を探る。また、巡回相談員と連携し、教員・児童のスキル向上を図る。 ・音読や書く活動を重視した授業づくりを進める。 ○ 読書活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「木原タイム」に読書(読み語り)を位置付け、「Mihara Books」を生かした取組を進める。 ・学校図書館司書連携等により、読書環境を充実させる。
豊かな心の育成	自己を高め、他者とよりよく関わり、協調しようとする豊かな心を養う。	(1)自ら行動し、やりぬく意欲と自信を育てる。 (2)他者を思いやり、協働する態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ふるさと学習」の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の素材を生かした生活科・総合的な学習の時間や、地域の人や文化(木原太鼓踊り)、行事(とんど祭り)等とつながる「ふれあい活動」を推進する。 ・小規模校との交流活動、一校一貢献事業を計画的に実施する。 ○ 「木原チャレンジ」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・マラソン、なわとび、暗唱等、目標に向かって挑戦する活動を継続する。 ○ 生徒指導の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・児童の思いや実態を的確につかみ、丁寧な生徒指導に徹するとともに、関係機関等との連携や組織的なアセスメントにより適切な支援を行う。 ・校則の見直し等により、自己指導能力の育成を図る。 ○ 学級活動・児童会活動の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動や委員会活動、「みんなあそび」、縦割り掃除等、目標をもって自立的に取り組む、関わり合い、協力し合う場を積極的に設ける。
健やかな体の育成	健康でたくましい心身の育成を図る。	(1)健康で安全な生活習慣を身に付けさせる。 (2)運動への意欲を育て、体力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健・安全教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣定着の取組(保健朝会や「チャレンジウィーク」等)や課題改善に向けた取組を計画的に行う。また、「金のルール」に基づく指導を継続する。 ・食生活改善推進委員、栄養教諭等と連携して、食育指導を充実させ、保護者啓発を行う。 ・「防災マニュアル」に基づく取組を計画的に実施するとともに、日々の安全な学校生活について、児童への指導を継続して行う。 ○ 体力づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・体育科授業の工夫や、「みんなあそび」、一輪車を使った運動の設定等、運動の楽しさを味わわせる活動を工夫する。 ・体力課題に基づき、体育科指導の工夫・改善を図る。 ・「木原チャレンジタイム」を設定し、目標を決めて継続して運動に取り組ませる。
信頼される学校の形成	安心と信頼のある学校を創る。	(1)保護者・地域の学校への理解を深める。 (2)安心・安全な学校づくりを推進する。(不祥事ゼロ)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 危機管理の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止研修を工夫し、「セーフティガード」による自己点検と意識強化を継続する。 ○ 同僚性とウェルビーイングの高揚 ○ 心身の健康保持 <ul style="list-style-type: none"> ・準衛生委員会等により教職員の状況を把握・共有し、適切に対応する。 ○ 業務改善の推進 ○ 研修の充実と人材育成(資質・能力の向上) ○ 環境の整備・改善と衛生管理 ○ 誠意ある迅速な保護者対応 ○ 地域や保護者との連携・協働 ※CS導入に向けての取組 ○ 情報公開と評価・改善